



輝け 未来へ 中番校

No one will be left behind



第3弾! NLP(Nakaban Learning Project)3rd. 始まる!!

- Change (変革) ,Challenge (挑戦) ,Continue (継続) -

今日からNLP (Nakaban Learning Project) 3rdが始まりました。1年間の学習の総まとめです。NLP 1st、NLP 2nd に続き第3弾です。NLP 1stでは、全校生が学び直しとして1年生からの問題に取り組みました。6年生が1年生の問題からと挑戦した訳です。つまり、1年生が終われば2年生、2年生が終われば3年生へと次々と学年を上っていきました。また、学年を越えても続けていきました。例えば、1年生が2年生の問題を解く、3年生が4年生の問題を解く、5年生が6年生の問題を解くというようなことが起こっていました。続くNLP 2ndでは、各学年の問題集に取り組みました。1・2年生の子供達は、国語・算数の2冊、3年生以上の子供達は、国語・算数・理科・社会の4冊の問題集に取り組みました。そして、今回、3回目となります。今回のNLP 3rdでは、今年1年の総まとめと位置付けており、より充実した取組となるようNLP 1stとNLP 2ndの実施方法の混合型としました。それは、①**全ての児童が、しっかりと現学年の全問題集に取り組み**こと、②**自分の学習の進み具合が確実に分かるように**することをねらいにしたからです。当然、学習は自分の力で計画して行うことが理想です。そのようなことができる児童もいるとは思いますが、少しでも多くの子供達に取り組みやすいようにと考え、**問題集を実施する順番(国語→算数→理科→社会)を決めました**。また、何事も積み重ねることが大切です。1冊終わる毎に次の1冊へ進むということが、子供達にとって分かりやすいルールとなると考えます。積み重なっていく問題集にきっと達成感や満足感を覚えるのではないのでしょうか。**期間は1カ月(2月10日から3月10日)です**。問題集を解く時間を見つけるのは、子供達自

身です。勿論、朝の学習タイムや家庭学習、その他、隙間時間にも取り組んでいくことがあるでしょう。**何より大切なのは、「自分から、進んで、問題集に取り組むこと」**です。問題集には、答えが付いています。自分で取り組み、確認し赤で○を入れる。そして、間違った問題を見直す、答えが分からない場合は、答えを見て考える。そして、赤で訂正をする。このプロセスの繰り返しです。どうしても分からない問題もあるでしょう。でも、答えを見ると「なあーんだ。そういうことか!」「うん。そうか!」ということが案外多いものです。このNLPの取組は、「自己完結」するということも大切なことだと考えています。**自分で問題を「解く」→答えを「確認する」→正しい答えに「訂正する」のプロセス**です。ただ、正解を記入しても、どうしても気になる場合は、先生に尋ねる、お家の人に尋ねる、友達に尋ねる等、解決の糸口は幾らでもあります。この学習は、そのようなことを決して妨げることを意図するものではありません。また、この問題集にはかなりの数の問題が用意されています。それは、子供達に、できるだけ多くの問題に触れて欲しいと考えているからです。知識や技能を習得する、或いは記憶に留めるということは、一度や二度、聞いたから、見たから、解いたから、意味をある程度理解したからといって、そう簡単に身に付くものではないことは、誰でも経験の上から明らかだと思います。ですから、圧倒的な量をこなすことで、知識や技能をより確かに身に付けることができると考えます。そして、そのように身に付けた知識や技能が、子供達自身の自ら学習を進める上での大切な土台となり、力となるはずです。今年度、子供達に「**即、実行!**」「**行動あるのみ!**」ということを強く求めてきました。**多くの子供達が、NLP 3rdに果敢に挑戦し、諦めず継続し、自己の可能性を拓き、自己変革を図って欲しいと願っています**。

新型コロナウイルス感染症の拡大が心配な状況です。正しい認識を深め、「**恐れず、正しく、適切に**」対応していくことが重要です。保護者の皆様のご理解とご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。